

令和 2 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜)

入学試験問題 外国語科目（英語）

注 意

- 1 試験時間は90分。
- 2 問題紙は 4 枚(表紙を除く)、解答紙は 4 枚。
- 3 設問 I 、設問 II の解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の使用は、不可とする。

【設問 I】 STEM (Science, Technology, Engineering, & Mathematics) 教育に関する
次の英文を読み、下線部①～④を日本語に訳しなさい。ただし、固有名詞
については原文表記のままでよい。

ここに当該文献の
p.77 "In both Europe and America" から
"to emulate their successes." まで
の部分が掲載されています。

また、以下の部分に下線が加えられています。
下線部①： 1つ目の段落の "In order to enable"
... "as useful knowledge."

下線部②： 2つ目の段落の "As the scope,"
... "audit and comparison"

下線部③： 3つ目の段落の "It has also developed"
... "potential economic competitiveness:"

下線部④： 5つ目の段落の "As a result,"
... "in a global policy arena."

なお、p. でページ数を表します。
L. でページ先頭からの行数を表し、
負数の場合はページ末尾からの行数を表します。

(Goumopoulos, C., Iossifides, A., Fragou, O., Zaharakis, I. D., & Kameas, A. (2019). An approach to advance STEM education practices based on IoT technologies and the CoPs paradigm. In McLaren, B. M., Reilly, R., Zvacek, S., & Uhomoibhi, J. (Eds.), *Computer supported education* (pp.117-118). Switzerland: Springer Nature Switzerland AG. より作成)

注) ubiquitous 至る所にある、偏在する

【設問Ⅱ】次の英文を読み、下線部①～⑤を日本語に訳しなさい。ただし、() 内に記載されている出典情報については、訳出を省略してよい。

ここに当該文献の
Section I, Chapter 2, "Pros and Cons of Taking a Specific Approach" の
最初のページにある本文の
1つ目の段落の "An approach to clinical psychology" から
4つ目の段落 "which ones are most popular." まで
の部分が掲載されています。

また、以下の部分に下線が加えられています。

下線部①：1つ目の段落の "That dialect eases"
... "professionals more efficient."

下線部②：1つ目の段落の "Based on their"
... "of those interventions."

下線部③：2つ目の段落の "Some clinicians allow"
... "with their approaches."

下線部④：3つ目の段落の "Understanding and appreciating"
... "clinicians and clients alike."

下線部⑤：4つ目の段落の "Research suggests that"
... "choose particular approaches."

(Kramer, G. P., Bernstein, D. A. & Phares, V. (2019). Chapter 2 Clinical Psychology's Past and Present. *Introduction to Clinical Psychology* (Eighth Edition). United Kingdom: Cambridge University Press より作成)

令和2年度（第2期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜)

入学試験問題 外国語科目（日本語）

注 意

- 1 試験時間は90分。
- 2 問題紙は 8 枚(表紙を除く)、解答紙は 2 枚。
- 3 設問 I 、設問 II の解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の使用は、不可とする。

設問一 次の文を読み、問い合わせに答えてね。

ここに当該文献の
p.69, L.9 から p.73, L.15 まで
の部分が掲載されています。

また、以下の部分に傍線が加えられています。

傍線部一: p.70, L.1 「時折り」

傍線部二: p.70, L.7 「生意気」

傍線部三: p.71, L.15 「移す」

傍線部四: p.73, L.2 「暴露」

傍線部①: p.70, L.9 「このような」 … 「ものではない」

傍線部②: p.71, L.1 「得心」

傍線部③: p.72, L.9 「このように」 … L.10 「ことではない」

傍線部④: p.73, L.11 「その瞳の」 … 「あるもの」

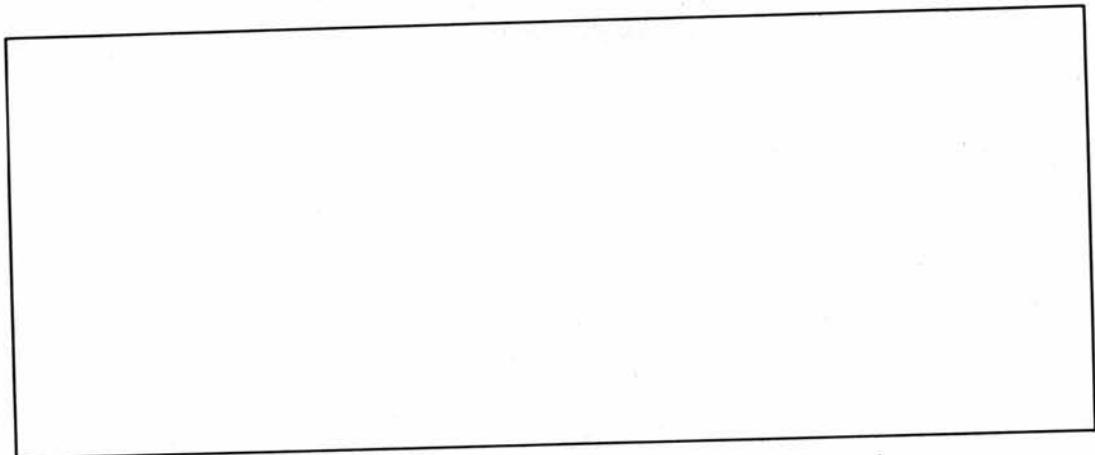
なお、p. でページ数を表します。

L. でページ先頭からの行数を表し、

負数の場合はページ末尾からの行数を表します。

R2.2期 前期一般(外国語、日本語)3

R2.2期前中期一般(外国語、日本語)4



子安増夫著『心の理論』岩波書店、六九・七二頁より作成。

問1 傍線部(一)～(四)の漢字に仮名をふりなさい。

問2 傍線部①「このようないことは特に日本文化に固有のものではない」を裏付ける内容を本文に沿って具体的に説明しなさい。 418

問3 傍線部②「得心」の意味を説明しなさい。

問4 傍線部③「このように考えると、対人場面で視線が気になる「視線恐怖症」が、日本人に特有の神経症のタイプであると言われるのも理由のない」とではないと著者が考えるにいたった背景を本文に沿って説明しなさい。

問5 傍線部④「その瞳の奥にあるもの」とは何か説明しなさい。また、それが視線恐怖にどのように影響を及ぼすのか、本文をふまえてあなたの意見を論じなさい。

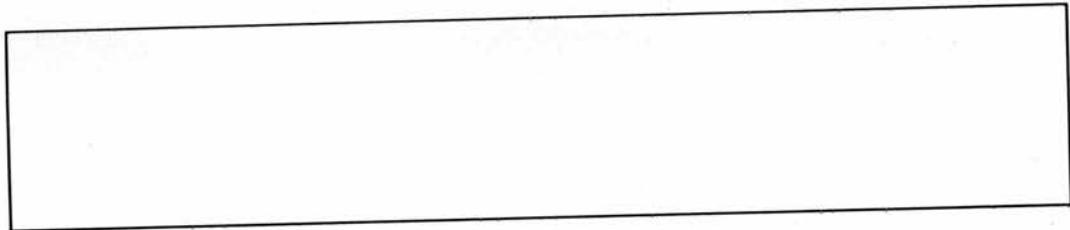
設問Ⅱ 次の文を読み、問い合わせに答えなさい。

ここに当該文献の
p.8, L.1 から p.13, L.2 まで
の部分が掲載されています。

なお、p. でページ数を表します。
L. でページ先頭からの行数を表し、
負数の場合はページ末尾からの行数を表します。

R2.2期 前期一般(外国語・日本語) 7

122、2期前中期一般(外國語・日本語) 8



いしらしやじ「やるせじ」(いしらしやじ著『海と山のピアノ』新潮文庫、平成
三十一年) ハー二三頁より作成。

問1 以下の問いに答えなさい。

- (1) なぜ、今年の「村うつり」に「私」は参加しないのか。その理由を説明
しなさい。
- (2) このたびの「村うつり」で、村が次にうつる場所は、なぜ決まっていな
いのか。その理由を説明しなさい。

問2 「私」のやるさことにとて「うた」とはいかなる存在なのか。本文からで
きるだけのことを読み取り、整理して説明しなさい。

88

問3 「自動車にはむかない」「四国のことば」とあるが、では「四国のことば」
にはいかなる特徴があるのか。本文の内容を踏まえつつ、論じなさい。

正 誤 表

4 頁 7 行目

誤 子安増夫著『心の理論』岩波書店、六九〇七二頁より作成。

正 子安増生著『心の理論』岩波書店、六九〇七二頁より作成。

令和 2 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜)

生涯教育科学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 1 枚（表紙を除く）、解答紙は 3 枚。
- 3 設問 I、設問 II とともに全員が解答すること。
- 4 解答は、問題番号等を明記して記入すること。

【設問 I】 教育的関係（教師／生徒 など）の成立する根拠を原理的に論述しなさい。

【設問 II】 次の①～⑦にあげる項目や用語、人名から 3つを選び、それについて説明
しなさい。

- ① 藩校
- ② 国民学校
- ③ 社会科
- ④ 決定論／非決定論
- ⑤ プラグマティズム
- ⑥ 構造主義
- ⑦ エステル・デュフロ (Esther Duflo, 1972～)

令和2年度（第2期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育政策科学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は6枚（表紙を除く）、解答紙は3枚。
- 3 設問I（共通問題）は全員解答すること。また、設問II（選択問題）については、問題紙中に志望する専門領域ごとの問題選択の方法が記してあるので、それに応じて問題を選択の上、解答すること。
- 4 解答は、問題番号を明記の上、それぞれ別の用紙に記入すること。

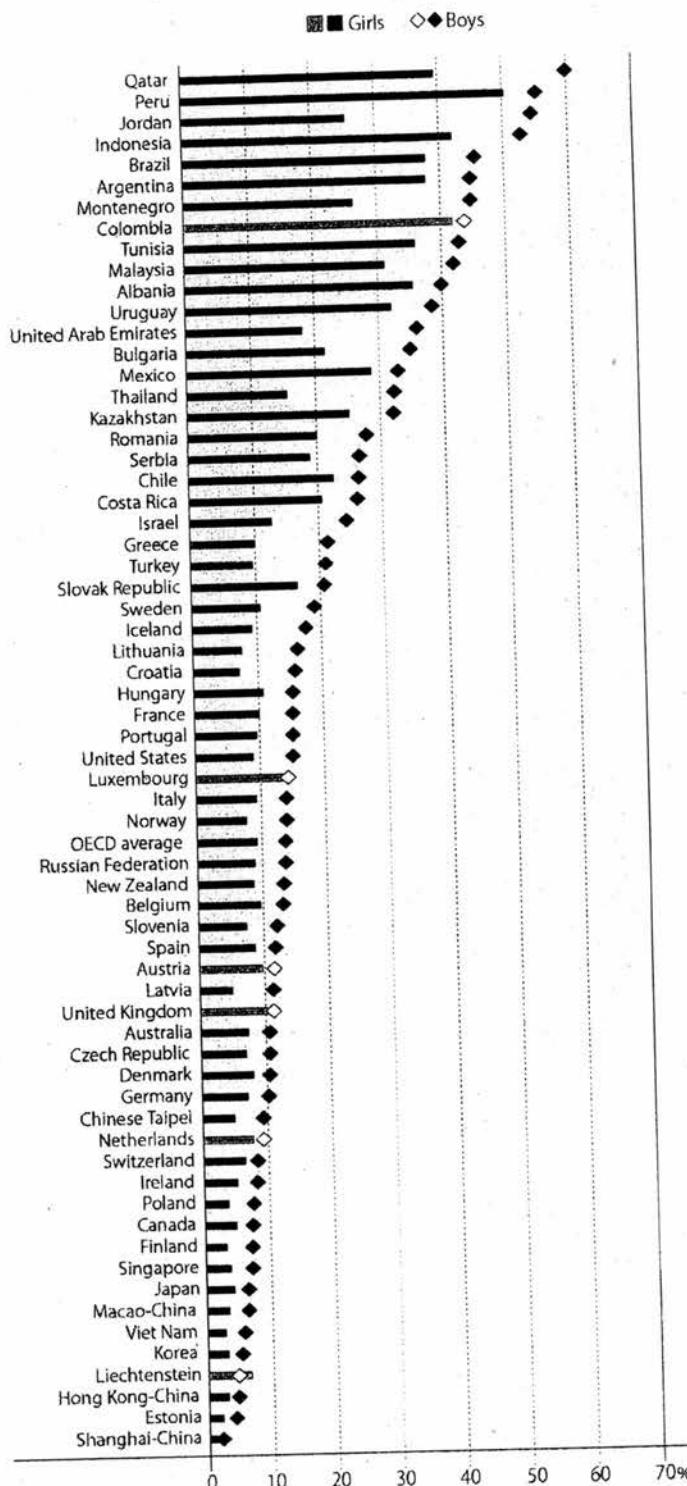
設問 I : 共通問題（全員解答すること）

次の図は OECD が 2011 年に実施した『生徒の学習到達度調査（PISA）』において、読解力（Reading）、数学的リテラシー（Mathematics）、科学的リテラシー（Science）の三分野で『習熟度レベル 2（Proficiency Level 2）』に達しなかった生徒の割合を男女別に示したものである（問 1 と問 2 の解答は解答紙 1 枚におさめること）。

問 1 多くの国において女子よりも男子の方が『習熟度レベル 2』に達しない生徒の割合が多くなっている。こうしたジェンダー差が生じる理由について、あなたの考えを述べなさい。

問 2 生徒の学力におけるジェンダー差を縮小させるためには、どの様な政策が有効と考えられるか。日本を例にして論じなさい。

Boys are more likely to fail to make the grade
in all of the three core PISA subjects
Gender differences in the percentage of boys and girls who perform
below proficiency Level 2 in reading, mathematics and science



Note: Gender differences that are statistically significant are marked in a darker tone.
Countries and economies are ranked in descending order of the percentage of boys
who are low performers (below PISA proficiency Level 2) in reading, mathematics
and science.
Source: OECD, PISA 2012 Database.

出典：OECD(2015), *PISA in Focus*—2015/03(March), p. 2.

2/6 R2.2期 前期一般（教育政策）3

設問Ⅱ：選択問題（志望する専門領域の問題を選択して解答すること）

【教育行政学領域】

次の各問いに答えなさい（問1・問2で解答紙を各1枚使用すること）。

問1 以下の表1・2は、2017年に公表された広域通信制高等学校の質の確保・向上に関する調査研究協力者会議による報告「高等学校通信教育の質の確保・向上方策について（審議のまとめ）」から抜粋したものである（一部改変）。二つの表から読み取れるなどを挙げよ。

【表1 通信制高等学校の設置状況及び生徒数】

設置者・形態等		平成8年	平成18年	平成28年
通信制高等学校（総数）		96校 154,515人	185校 182,517人	244校 181,031人
公 立	総 数	68校 96,753人	75校 91,361人	77校 62,783人
	うち狭域	68校 -	74校 -	76校 62,056人
	うち広域	0校 -	1校 -	1校 727人
私 立	総 数	28校 57,762人	110校 91,156人	167校 118,248人
	うち狭域	20校 -	50校 -	63校 17,978人
	うち広域	8校 -	60校 -	104校 100,270人
	うち株式 会社立	0校	13校 -	19校 11,239人
狭 域（総数）		88校 -	124校 -	139校 80,034人
広 域（総数）		8校 -	61校 -	105校 100,997人

※ 「狭域」とは「狭域通信制高等学校」（当該高等学校の所在する都道府県および隣接する一つの都道府県に住所を有する者を生徒とする通信制高等学校）のことであり、「広域」とは「広域通信制高等学校」（当該高等学校の所在する都道府県に住所を有する者のか、全国的に他の都道府県に住所を有する者を生徒とする通信制高等学校）のことである。

※ 平成8年及び平成18年については、広域・狭域・株式会社立の生徒数の内訳は不明である。

※ 株式会社立は、全て広域である。

【表2 通信制高等学校が特に重視して取り組んでいる事項】

特に重視して取り組んでいる事項	全体	設置者別の内訳		
		公立	学校法人立	株式会社立
履修・学習状況のきめ細かな把握・管理	84.8%	94.8%	86.5%	37.5%
進路指導、キャリア教育	67.6%	62.3%	72.3%	62.5%
添削指導の充実（添削課題の作成、生徒の回答内容を踏まえた添削コメントの充実等）	63.5%	93.5%	52.0%	37.5%
少人数指導や個別指導	60.9%	46.8%	68.9%	68.8%
特別活動等による集団生活や人間関係づくり、コミュニケーションスキル等の育成	57.8%	53.2%	63.5%	37.5%
義務教育段階における学習内容、基礎的な知識・技能の定着のための指導	51.6%	45.5%	57.4%	37.5%
学習意欲等に課題がある生徒に対する日常的な働きかけや支援	51.6%	42.9%	54.7%	75.0%

問2 問1で読み取った内容を踏まえ、通信制高等学校に関する研究を行うと仮定した場合の研究計画を記述せよ。

【比較教育学領域】

次の文を読み、下の問いに答えなさい（問1・問2で解答紙を各1枚使用すること）。

ここに下記文献の抜粋が入ります。

パトリシア・ポット（阿古智子訳）「比較教育学研究における『経験』の位置づけ」
マーク・ブレイ／ボブ・アダムソン／マーク・メイソン編著（杉村美紀／大和洋子／
前田美子／阿古智子訳）『比較教育研究一何をどう比較するのか』上智大学出版、
2011年、82頁の30行目「私が考える…」～83頁の30行目「…してみるとよい」まで。

また、つぎの部分について下線を付してあります。

下線部①：82頁の30行目～83頁の1行目「私が考える…ものではない。」

下線部②：83頁の6行目「非社会的な理論の枠組」

問1 下線部①について、筆者の意見に対しあなたはどのように考えるか。支持する場合に
は、「客観的あるいは確実な知識を生むものではない」教育と学習の比較探究とはど
うなものかを論じなさい。支持しない場合には、教育と学習の比較探究が「客観的あ
るいは確実な知識を生むもの」であるべき理由について論じなさい。

問2 下線部②について、例としてあげられている6つのミスマッチのうちから2つを選
び、それについて、それが「非社会的な理論の枠組み」に向かうものであるとはど
ういうことか、説明しなさい。

令和2年度（第2期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜)

教育心理学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は3枚（表紙を除く），解答紙は4枚。
3. 【共通】【A-1】【A-2】・・・の解答は，問題番号を明記の上，それぞれ別の解答紙に記入すること。
4. 志願する領域によって解答する問題が異なるので，注意すること。

「教授学習心理学」領域を専攻しようとするものは【共通】【A-1】
【A-2】【A-3】の各問題に解答すること。

「発達心理学」領域を専攻しようとするものは【共通】【B-1】【B-2】
【B-3】の各問題に解答すること。

「発達障害学」領域を専攻しようとするものは【共通】【C-1】【C-2】
【C-3】の各問題に解答すること。

<教授学習心理学領域>

【共通】 University College London の研究者によると、7000人近い英国の居住者(50歳以上)に対する14年にわたる調査の結果、年に1、2回芸術鑑賞した人は、まったく芸術鑑賞しなかった人よりも調査期間中の死亡率が14%低かった。また、より頻繁に博物館や劇場、美術館や画廊に通う人の場合、死亡率は31%低いという結果であった。ここから、ある報道機関では「美術館やアートギャラリー、劇場へ出かける習慣のある人たちはそうでない人たちよりも長生きできる可能性がある——。英國の研究者らがこのほど、そんな研究結果をまとめた。文化と芸術に接する機会が多いほど、早死にのリスクを避けられるとしている」と報道した。この報道のように結論づけてよいかについて、あなたの考えを、その論拠を明確にしながら述べなさい。

【A-1】 実際の授業を対象とした学習研究において「統制群法」を採用することの問題点について、方法論および研究倫理の面から説明しなさい。

【A-2】 「生態学的妥当性」とはなにか。学習実験を例に説明しなさい。

【A-3】 宣言的知識と手続き的知識について、その相違点を明確にしつつ説明しなさい。

<発達心理学領域>

【共通】 University College London の研究者によると、7000人近い英国の居住者(50歳以上)に対する14年にわたる調査の結果、年に1、2回芸術鑑賞した人は、まったく芸術鑑賞しなかった人よりも調査期間中の死亡率が14%低かった。また、より頻繁に博物館や劇場、美術館や画廊に通う人の場合、死亡率は31%低いという結果であった。ここから、ある報道機関では「美術館やアートギャラリー、劇場へ出かける習慣のある人たちはそうでない人たちよりも長生きできる可能性がある——。英國の研究者らがこのほど、そんな研究結果をまとめた。文化と芸術に接する機会が多いほど、早死にのリスクを避けられるとしている」と報道した。この報道のように結論づけてよいかについて、あなたの考えを、その論拠を明確にしながら述べなさい。

【B-1】 人間の発達において、初期環境が後の発達状態に与える影響について、「臨界期」「敏感期」「DOHaD」という用語を使って述べなさい。

【B-2】 青少年の非行や反社会的行動に対して発達心理学的な観点から検討を加える場合、その背景にどのような要因が想定されうるか。具体的な例を挙げて説明しなさい。

【B-3】 仮説検証型の発達研究における統計的検定の手続きについて、「帰無仮説」「対立仮説」「有意水準」という用語を使い、具体的な例を挙げて説明しなさい。

<発達障害学領域>

【共通】 University College London の研究者によると、7000人近い英国の居住者(50歳以上)に対する14年にわたる調査の結果、年に1、2回芸術鑑賞した人は、まったく芸術鑑賞しなかった人よりも調査期間中の死亡率が14%低かった。また、より頻繁に博物館や劇場、美術館や画廊に通う人の場合、死亡率は31%低いという結果であった。ここから、ある報道機関では「美術館やアートギャラリー、劇場へ出かける習慣のある人々はそうでない人々よりも長生きできる可能性がある——。英國の研究者らがこのほど、そんな研究結果をまとめた。文化と芸術に接する機会が多いほど、早死にのリスクを避けられるとしている」と報道した。この報道のように結論づけてよいかについて、あなたの考えを、その論拠を明確にしながら述べなさい。

【C-1】 合理的配慮の提供内容の決定に関し、「建設的な対話」が求められるのはなぜか。「均衡を失した又は過度の負担」という文言も用いつつ説明しなさい。また、合理的配慮の具体例を2つ挙げなさい。

【C-2】 「共同注意関連行動」とは何か、コミュニケーション機能の発達の観点も踏まえたうえで説明しなさい。また、自閉症スペクトラム障害がこれら行動の成立にどのような影響を及ぼすか論じなさい。

【C-3】 配分性注意とその障害について、①背景となる神経基盤、②評価方法、③日常生活への影響の点を含めて論じなさい。

令和2年度 (第2期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜および社会人特別選抜および
外国人留学生特別選抜)

臨床心理学コース
入学試験問題（専門科目）

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は1枚（表紙を除く）、解答紙は5枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと（設問I～設問IIIの解答は各1枚の解答紙を用いて、設問IVの解答は2枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を1枚目、(5)～(8)を2枚目に記入すること）。

令和2年2月 前期一般・社会人・外国人（臨床）

.....臨床心理学コース.....

【設問 I】 心の健康教育の意義について述べなさい。 (20 点)

【設問 II】 認知行動療法におけるケースフォーミュレーションについて、その進め方および留意点について述べなさい。 (20 点)

【設問 III】 ステップ・ファミリーの家族支援において留意すべきことを、例を挙げながら 3 点にまとめて述べなさい。 (20 点)

【設問 IV】 以下の用語をそれぞれ 5 行程度で説明しなさい。 (各 5 点)

(1) ICD-11

(2) パーンアウト症候群

(3) 社会的自己

(4) 同化と調節

(5) ドナルド・W・ウィニコット (Donald W. Winnicott)

(6) エンプティ・チェア

(7) MMPI

(8) 剰余変数

(以下余白)